

# 豊川で兵庫の長尾クリニック院長・長尾和宏氏

## 死をタブー視しないで

### ケアマネなど 多職種関係者を対象に講演会

終末期の医療や看護に関わる医師や薬剤師、看護師、ケアマネジャーなど多職種関係者を対象にした「とよかわ在宅医療・介護ネットワーク講演会（豊川市主催）」は1月31日、豊川市諏訪3丁目の豊川市民プラザで開かれた。

講師は兵庫県尼崎市の長尾クリニック院長で、外来と在宅の総合診療を行っている長尾和宏氏（56）。「医療・介護チームが支えるミニナルケアと看取り、疼痛管理における麻薬取扱い等専門的



講演する長尾和宏氏（豊川市民プラザで）

知識の共有を通じて」を演題に、約150人の参加者に向け、自身の経験や在宅医療の大切さを語った。

長尾氏は「地域包括ケアを考えるうえで看取（みと）りはキーポイント。医療看護の原点は、困った人の所に駆けつけること。出ていく」と話し、終末期の患者の痛みを止めるために有効な医療用麻薬や鎮痛剤、認知症に効果がある薬

などを具体的に紹介。利用法などを示した。

「現代の医療の9割は延命治療だが、枯れて死ぬ、平穏死の方が、苦痛が少なく長生きできる。すべての治療にはやめ時がある。患者自身が自己主張すべき」とし、「死をタブー視せず、がんや認知症の人が地域で暮らせるまちづくりをしよう」と呼びかけた。

（森美香）

## 技術を磨き生きがいも作る

### 豊橋市シルバ人材センター、築庭の匠に学ぶ剪定講座

豊橋市シルバ人材センターは1月27日から、アイブラザ豊橋（草間町）などで、講師から枝切りの技術を学ぶ「築庭の匠（たくみ）に学ぶ剪定（せんてい）」

講座」を実施した。60歳以上の市民に働く楽しみを感じてもらうため、参加費無料で開催。同センターは今後も介護や清掃など各分野の講師を招いた講座を開く予定で、参加を募

ザ内の中庭や駐車場の枝切り作業などに励んだ。

神谷さんは2013年度の「とよはしの匠」に選定された庭師。講座の参加者は60歳〜77歳までの庭いじりなどに興味を持つ市民で、神谷さんの指導を受けながら共同作業を行った。

参加した市内の無職女性（70）は、柿の出荷などに携わり、柿の木の手入れなどに役立てようと講座に参加。「初対面の人ばかりで、女性は少なかったがすんなりと溶け込めた。シルバ世代に合った教え方で今後役に立てられる」と満足げに語った。